

解析学特別演習 II・小テスト解説 (5)

1999 年 12 月 14 日 河東泰之

e-mail: yasuyuki@ms.u-tokyo.ac.jp

<http://kyokan.ms.u-tokyo.ac.jp/~yasuyuki/>

配点は [1] から順に 40, 30, 30 点です。平均は 48.3 点, 最高は 90 点でした。簡単な解説をつけます。

[1] Test function φ を一つとめて考えれば, その support は compact 集合なので, すぐに結論が出る。

[2] まず, $\log|x|$ は局所可積分だから $\mathcal{D}'(\mathbf{R})$ の元と見なせる。

次に微分の方は, 定義どおり書いたものの積分区間を $(-\infty, -\varepsilon)$ と (ε, ∞) に分けてそれぞれ部分積分してから $\varepsilon \rightarrow 0+$ とすれば, 答えは p.v. $\frac{1}{x}$ であることがわかる。

[3] まず, $\varphi(x) \in \mathcal{D}(\mathbf{R})$ に対して,

$$\begin{aligned} & \langle e^{inx} \text{p.v.} \frac{1}{x}, \varphi \rangle \\ &= \int_{|x| \geq 1} \frac{e^{inx} \varphi(x)}{x} dx + \int_{|x| \leq 1} \frac{e^{inx} \varphi(x) - \varphi(0)}{x} dx \\ &= \int_{|x| \geq 1} \frac{e^{inx} \varphi(x)}{x} dx + \int_{|x| \leq 1} \frac{\varphi(x) - \varphi(0)}{x} e^{inx} dx + \int_{|x| \leq 1} \varphi(0) \frac{e^{inx} - 1}{x} dx \end{aligned}$$

である。ここで $n \rightarrow \infty$ とすると, Riemann-Lebesgue の定理より, 第 1 項, 第 2 項は 0 に収束する。一方第 3 項は

$$i\varphi(0) \int_{-1}^1 \frac{\sin nx}{x} dx = i\varphi(0) \int_{-n}^n \frac{\sin x}{x} dx \rightarrow \pi i\varphi(0)$$

に収束するので答えは, $\pi i\delta$ である。